

学院部「安心論題」濱畑僚一

学院部の安心論題は、『浄土真宗本願寺派僧侶教本 A・B』を参照しつつ、本願寺派勸学寮編集（本願寺出版）の『新編安心論題綱要』に基づいて進めます。

その際に、各論題の拠り所となる御文を、『浄土真宗聖典全書』の第一巻・第二巻で確認します。また、それぞれの御文の読み方について『浄土真宗聖典（註釈版第二版）』『浄土真宗聖典（七祖篇註釈版）』を参照します。

ところで、剣道など武術には「形（かた）」と呼ばれる稽古があります。形は実戦でそのまま使うことは出来ませんが、形が無ければ実戦は出来ないそうです。私は浄土真宗の形が安心論題であると教えてもらいました。浄土真宗の実戦とは、戦うことではなく、生死を超えて仏道を歩むことです。

ご一緒に、形である安心論題をしっかり身につけると同時に、論題に込められた仏祖・祖師方・先輩方の御ところにふれさせていただきましょう。